

第2回「ドライブレコーダデータベース検討会」

議事概要

1. 日時：平成22年3月9日（火）14:00～16:10

2. 場所：主婦会館プラザエフ 3階コスモス

3. 出席者

鎌田委員、永井委員、岩越委員、四倉委員、小野委員、山崎委員、吉田委員、清水委員、竹井委員、鯨井委員、山田谷委員、大江委員、大森委員

4. 資料説明

○事務局より資料説明

- ・第2回検討会検討資料

5. 議事

各委員の主な発言内容は以下のとおり。

①ドライブレコーダデータベースに対するニーズ調査及び利用方法の検討

- ・ データベースありきという印象を受ける。第一段階で何ができるかを示さないといけない。ドライブレコーダデータベースの利用方法を、もっと具体的に書く必要がある。
- ・ ヒアリング対象先がどのようなドラレコの機種を導入しているのかが分かると良い。常時記録型なのか、イベント記録型なのか分かるように整理してほしい。
- ・ 今回のアンケート調査ではドラレコの満足度を聞いていないが、次の機会には満足度も聞いてほしい。

②データベース仕様及び管理体制・方法

- ・ ドラレコデータベースは各事業所ではそれぞれクローズドに使われているが、それらのデータは社会全体に使われていないのもったいない。ドラレコデータを交通事故の原因分析と対策立案に活かすためには、国の行政がデータベースを構築して活用することが求められている。
- ・ ドラレコデータはクローズドでもあまり活用されていないと考えている。データが十分に活用されないまま上書きされているので、データを国が将来の交通安全のために使いたいという趣旨でこの調査がスタートしたと認識している。
- ・ 理想的なデータベースの将来像を示した上で、第一段階としてここまでやるというアプローチにすべきだと思う。
- ・ 2段階のデータベース構築イメージの内容はヒアリング調査やアンケート調査を踏まえた最小公倍数のまとめだと思う。平成21年度は概略設計で、平成22年度に詳細設計を

することで良いのではないか。

- ・ ドライブレコーダ利用ニーズの把握及び利用方法の検討の表には事故とヒヤリハットが混在しているので、整理が必要だと思う。「交通安全教育」の場合にはヒヤリハットデータも重要だと思うが、「事故トラブルの解決」、「事故メカニズム分析」、「安全技術開発」については事故データがないといけない。

③今後の進め方

- ・ 3章と4章は、ドラレコデータベースの構想として一つの章にまとめることとする。
- ・ その後の取り扱いについては座長に一任する。

以上